

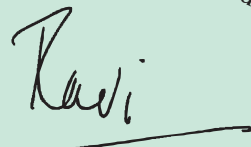
# 伊予三島ロータリークラブ



伊予三島RC30周年記念時計塔  
伊予三島運動公園「産土の塔」

## 世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world



2015～2016年度国際ロータリー会長

No.19

平成27.11.6

第2959回

事務局 四国中央市金生町下分865 四国中央商工会議所内  
http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896)58-3530  
E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896)58-6294  
例会 金曜日 12:10～13:10  
■会長/中野 哲 ■幹事/山内一正 ■広報委員長/園部忠幸

## ロータリー財団委員会

委員長 藤田 誠 一



ロータリー財団委員会の藤田です。委員会は私と篠永靖司副委員長との2名で構成されております。篠永副委員長はクラブ会長、愛媛第一分区ガバナー補佐の経験が有り、またロータリー財団委員長も何度も経験されております。また、社会福祉協議会の会長もされたことも有りまして当クラブの現在のロータリー財団の形をほぼ作り上げてこられました。そんなことで、今年度の活動は副委員長に頼り切った状態で進めていきたいと思っております。本日は昨年度に引き続きまして、ポリオプラスへの寄付金の捻出のため、100万ドルの食事にさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

100万ドルの食事は少し節約した食事で、通常の食事との差額を奉仕活動の資金にあてようというものです。地区目標は会員1名当たり、10ドルとなっています。現在のレートでは、1200

円となります。あと2回ほどは必要かと思われますのでよろしくお願い申し上げます。

あまり面白い話ではありませんが、しばらくロータリー財団に関するお話をさせていただきたいと思っております。まず、2月の例会の席で、篠原会長から19名のポールハリスフェローならびに、マルチプルポールハリスフェローにたいしてメダルやポールハリスの似顔絵のはいったピンバッチが送られました。このことに関して、ロータリー財団委員会としては会員の皆様に感謝と説明が必要と思っておりました。少し時間をいただいております。ロータリー財団委員会の役目の50パーセントは、寄付金を集めることにあります。

財団活動の資金は全て寄付金からなっております。2670地区では、昨年までは財団寄付の目標金額を会員一人あたり120ドルとしておりました。このために、当クラブの会員の皆様は全員「財団の友」という制度に入会しています。「財団の友」とは、年間100ドル以上の財団寄付を継続的にすることを宣言した会員のことをいいます。伊予三島クラブでは、毎年120ドルを2回にわけて、銀行引き落としで集めさせていただいております。今年度より地区目標は、150ドルとなっておりますが、従来通りでいきたいと思っております。「財団の友」は前回私が財団委員長に任命されましたときに導入させていただきました。当時は為替も比較的安定しておりましたので、希望者のみでしたが、毎月1,000円、年間12,000円お願いすることからはじまりました。その後、篠永会員が現在の状態をつくっていただきました。

この「財団の友」の制度が出来以前には、財団の活動に熱心だった合田易光会員を中心として、頼母子講式の寄付金の集め方をした時期もありました。

入会希望者を募りまして、年間12,000円を各会員から徴収して合計金額から1,000ドルがいくらかとれるかを計算して抽選にてポールハリスフェローに申請をする、といったものでした。

それ以前は、一度に1,000ドルの寄付をお願いしていたように思います。

たとえば、退任された会長さんや幹事さんをお願いしたり、個人や会社でのお慶びごとがあったとき、また逆に不幸ごとがあったとき、クラブノメンバーへの香典返しにかえて寄付をお願いしたりというものでした。為替が固定相場で1ドル360円の当時は、物価や給料を考慮すると、1,000ドルは大きな金額でした。財団寄付金の金額にあわせて、米山奨学会への寄付金も単位が30万円でした。

11月1日(日)には、以前にも行われましたが富郷のボランティアの森での植林を行ってまいりました。篠永会員の提案で前回の植林の状態を観察しながら、さらに整備をしようということになりました。今回は社会奉仕委員会にもご協力いただきました。また、社会福祉協議会、森林組合、にも大変お世話になりました。さらに、多くのボランティア団体の方々にもご協力いただきました。

## お詫びと訂正について

No.18 平成27.10.30 第2958号の会報で、事務局並びに印刷当局の不注意によりまして、誤植と校正ミスのため、森川教義会員に多大のご迷惑とご不快な思いをさせました事を謹んでお詫び申し上げます。尚、会員の皆様には、下記のとうり会報の加筆訂正をお願い申し上げます。

### 訂正箇所

	誤	正
1 ページ目の最下段	焦蹶感にかられ	焦躁感にかられ
2 ページ目の31行目	大事メーカー	大手メーカー

第2959回 例会 記 録 平成27年11月6日

開会 中野 哲 会長

出席報告

出席会員（38名中） 32名  
出席率 84.21%

会長の時間

○誕生日お祝い

井原 伸君（2日）、園部忠幸君（19日）  
井原明子様（3日）、高岡智恵美様（14日）  
今村栄子様君（26日）、久米初江様（26日）

○結婚記念日お祝い

合田節男御夫妻（53年）、桂 高司御夫妻（41年）  
宮崎茂喜御夫妻（36年）、園部忠幸御夫妻（34年）  
篠原聡一御夫妻（34年）

幹事報告

・ボランティアの森委員会～  
補助金交付の御礼状

例会行事

ロータリー財団委員会 藤田誠一 委員長

ニコニコ紹介

中野 哲会長～10月31日の「ボランティアの森」へ参加された藤田・篠永・今村・石川会員、お疲れ様でした。有難うございました。

藤田誠一R財団委員長～

10月31日：富郷でのボランティアの森で植樹に当クラブより4名、その他ボランティア団体が多数参加していただきました。

誕生祝～井原 伸君、園部忠幸君、井原明子様、高岡智恵美様、久米初江様

結婚記念祝～合田節男君、桂 高司君、宮崎茂喜君、園部忠幸君、篠原聡一君

11月20日プログラム予定

社会奉仕委員会

園部忠幸広報委員長よりのお願い

## クラブ会報原稿募集!!

会報の空スペースを有効利用して、皆様の身の廻り情報を載せましょう。

①私の趣味や近況 ②最近、私のニコニコ情報 ③その他

だるま印刷 ☎ 24-0945 FAX 24-5094 Eメール：daruma-p@joy.ocn.ne.jp

★何時でも自由に、何回でもどしどし投稿下さい。お待ちしております。

## ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた、職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。